

■令和5年度第1回和歌山県スポーツキャンプ実行委員会 議事要旨

日 時：令和5年6月6日（火）10：30～11：30

場 所：和歌山県民文化会館 408会議室

- ◆出席者：栗生 好人（県生涯学習局長）
鈴木 雅之（県観光連盟事務局長）
田伏 利久（県体育協会理事長）
舛田 拓哉（南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会事務局長）

- ◆事務局：森スポーツ課スポーツ企画班長
石倉スポーツ課スポーツ企画班指導主事
井辺スポーツ課スポーツ企画班主査

◆議事

1 開会

2 委員長あいさつ

3 出席者紹介

4 報告事項

(1) 和歌山県スポーツキャンプ実行委員会規約等について

資料1により事務局が説明

〔質疑応答なし〕

5 協議事項

(1) 令和5年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について

資料2により事務局が説明

〔質疑応答等〕

（委員の質問）

和歌山県スポーツキャンプ実行委員会では、キャンプ誘致が決まった市町村から負担金をもらうのか。

（事務局の回答）

キャンプ誘致が決まった市町村から負担金をいただいて、対象経費に対して2分の1という形になっている。

（委員の質問）

年度途中の新たなキャンプ誘致は、どうするのか。

（事務局の回答）

年度途中のキャンプ誘致になると、対応が難しい予算になっている。補正予算を組むのが難しいので、市町村には当初から負担金の予算を組んでいただいている。

（委員の質問）

キャンプ誘致のターゲットについて、教えてほしい。

(事務局の回答)

現状では、1人でもチームでもターゲットにしている。例えば、世界選手権の出場選手で、それに向けた事前キャンプであれば、1人でもチームでもキャンプ誘致をすることができる。

(委員の意見)

スポーツの大会をする時に、コンベンションを使わせてもらっている。市町村は、補助金を取ってくれている。

(委員の質問)

国外ナショナルチームを誘致する場合、窓口はどこか。

(事務局の回答)

大会組織委員会を通じて紹介していただいて、チームの窓口と直接連絡をしている。基本的にメールのやり取りであり、電話等の連絡まで至らないことが多い。

(委員の質問)

世界選手権等がなくても、毎年ナショナルチームがしているキャンプは対象なのか。

(事務局の回答)

世界選手権等の開催がなくても、国内外ナショナルチームのキャンプは対象である。

(2) 今後の取り組み・展望について

資料3により事務局が説明

〔質疑応答等〕

(委員の質問)

遠方である欧米の大会の場合、日本で事前キャンプはありえるのだろうか。

(事務局の回答)

欧米等の大会の場合、可能性が低い。大会会場のできるだけ近い場所で、直前までキャンプをして、あまり時差の問題なく会場に入っていくパターンが多いからである。

(委員の質問)

キャンプ誘致の財政支援は、全国的にはやっているのか。

(事務局の回答)

全国的に積極的にやっているところが多い。県だけではなくて、市町村で積極的にやっているのが大変多い。それには、やはり立派な施設が伴っているというのが大きい。それを持っているところは呼び込まずとも来るとともに、少ない予算で行っている。ぜひ誘致したいところは、和歌山県よりも多い予算でやっている場合もある。

6 その他

7 閉会